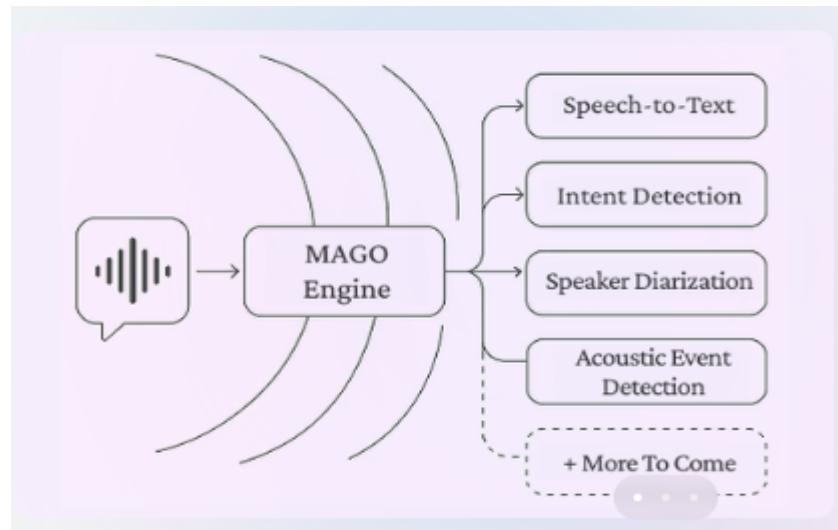


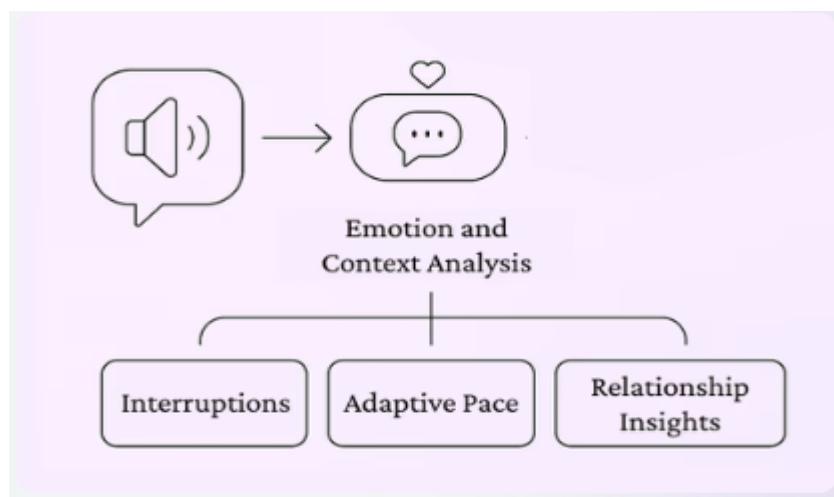
企業名 (設立日)	株式会社 MAGO (2022. 05)	代表者名	コ・ヒョンウン (Ko-Hyunwoong)
住所	217 Teheran-ro, Yeoksam-dong, Gangnam District, Seoul,		
URL (動画 : URL)	<a href="https://www.holamago.com">https://www.holamago.com</a>		
製品・サービス名	<b>Audion (オーディオン)</b>		
起業の動機	次世代のUIとしての音声AIがあまりにも複雑であることに気づき、誰もが直感的に使える音声体験を提供するために設立		
製品・サービス紹介	<p>○ <b>製品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 音声認識 Large Speech Model : 実際の環境でも安定して動作し、音声と無音を正確に区別して音声区間を精密に検出。年齢や方言にかかわらず自然に認識できる音声認識技術。</li> <li>- 音声感情認識 (Speech Emotion Recognition) : 音声信号から話者の喜び、悲しみ、怒りなど7種類の感情や落ち込みを詳細に分析し、感情状態を正確に把握。</li> <li>- 会話AI (Conversation AI) : 発話者の意図を迅速に理解し、2秒以内に自然な会話と実行可能な応答を提供。単なる会話を超え、知能的な対話体験を実現。</li> <li>- 字幕生成・音源分離・テキスト分析などを効率化やカスタマイズも可能。</li> <li>- 誰でも簡単に音声AIを使えるビルダープラットフォームとして提供。</li> </ul>		
	<p>○ <b>ターゲット市場・規模・将来性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 高齢人口の急速な増加に伴い、自宅ケア・コミュニティケア・施設ケアを含むすべてのケア環境が対象となる。</li> <li>- 技術面では「音声認識」「感情認識」「会話AI」が強みであるため、高齢者が“話す・聞く・反応を得る”というインタラクションを含むケア環境に適する。 (シニアが自然に発話することで状態を検知でき、方言や発話の癖があっても認識できる点がおおきな強みとなる)</li> <li>- 高齢者ケアにおいて「音声によるモニタリング」や「会話を通じたケア」「感情認識による状態把握」など、こうした技術ソリューションの需要が高まる。</li> </ul>		
	<p>○ <b>競合優位性、新規性、独自性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 高齢者の発話特性や方言、訛り、発声速度の違いまで安定的に認識可能な高精度な音声AI技術を有する。</li> <li>- ヘルスケアやメディアなどの多様な業界への音声AIの統合や、新興技術や市場動向への迅速な適応も可能。</li> <li>- 最先端の音声AIを通じて、パーソナライズされたユーザー エクスペリエンスを提供。</li> </ul>		

## From Speech to Sentiment to Dialogue

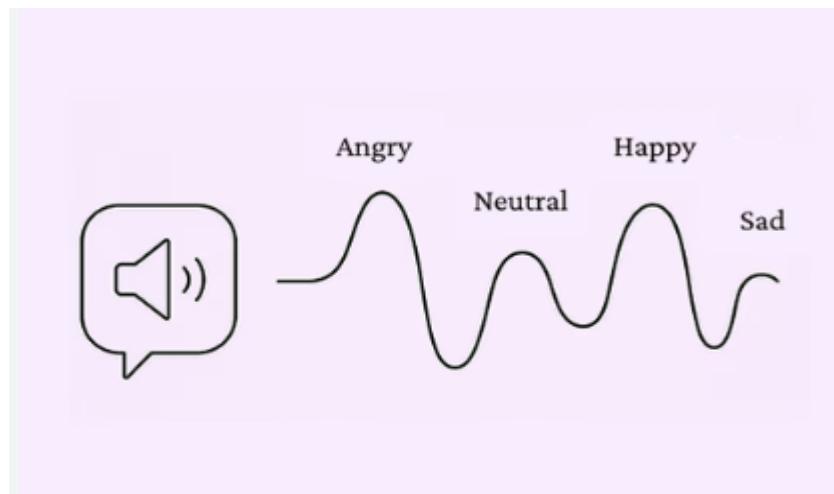


Turn Speech into Valuable Data

製品・サービス  
イメージ



Context, Understood



Emotion in Every Voice, Detected